

### 第3期白川町地域福祉計画・白川町地域福祉活動計画【案】に関するご意見と回答

No.	項目名	ご意見の内容	回答（町の考え方）
1	基本目標1 「福祉の意識づくり」 施策1 地域福祉に対する理解の促進 ①地域福祉に関する意識啓発	高齢者の方はなかなか「耳が遠いので文字で教えて。」ということはいいにくいと思います。そこで、UDトークアプリを活用して、講演会などに字幕表示すると話の内容はわかると思います。実際、講演会で字幕表示した時、「字幕あるといいね。」と、言われる方がおられます。	これまでも町民会館グロリアホール等での行事では、団体の力をお借りして音声認識アプリを活用した字幕表示を行っているところです。町主催行事では、引き続き団体の力をお借りして意思疎通支援の充実を行っていきたいと考えています。
2	基本目標2 「地域の支え合い体制の仕組みづくり」 施策1 地域を支える人材の育成と活動への支援	サークル、活動団体は、後継者に悩まされております。次世代に橋渡しができるよう、講習会、勉強会など行い、音声認識アプリの普及活動をしてほしいです。	地域における福祉活動を担う人材の発掘・育成の課題に対して、「ボランティアの育成」や「研修機会の充実」を掲げているところです。社協と連携を図りながら、課題解決に向けた支援を行っていきたいと考えています。
3	基本目標3 「適切な支援に繋ぐ仕組みづくり」	最近ではコロナ感染予防のため、皆さんマスクをしていて、口元が見えず、またアクリル板の設置により、話し声が聞こえる方でも大変聞きづらくなっており、話の内容がわかりにくいので、窓口にタブレットを設置して、UDトークを活用して文字表示し、お話の内容を伝えると、より相手に話が伝わると思います。	窓口などでの個別対応では、状況によっては音声認識アプリを使用するなど、相手に必要な情報が伝わるように常に心がけるとともに、丁寧な接客を行っていきたいと考えています。